

卒業研究 I

科目ナンバリング THE-401
必修 2単位

増淵 達夫

1. 授業の概要(ねらい)

「教育学演習Ⅰ」「教育学演習Ⅱ」を通して、学校教育の現状や課題を把握し、それらの解決に向けた方策などについて、文献購読や受講者間での意見交換などを通して、自らの課題意識を明確にし、研究テーマを設定し、課題解決に向けた具体的な提言ができる資質・能力の育成を目指す。

特に「教育学演習Ⅰ」では、学校教育の現状と課題について、資料を基に、学校教育制度、教育課程、社会科・公民科教育、生徒指導、教育課題など、様々な観点から概観するとともに、卒業研究に至るまでの見通しを持ち、自ら探究する課題の設定に向けた準備を行う。

2. 授業の到達目標

- (1) 文献の内容を読み取り、概要を文章にまとめるとともに他の人たちが理解できるように、簡潔に説明できる。
- (2) 文献内容をさらに深く理解するために調べるべき事項を列挙することができる。
- (3) グループ活動に主体的に参加し、事前学修を踏まえて的確に質問や意見を出し、議論を建設的な方向に進むよう、自らの役割を果たすことができる。
- (4) 発表や意見交換を通して、理解力、思考力、表現力、コミュニケーション能力等を身に付ける。

3. 成績評価の方法および基準

- (1) 協議資料の作成と発表(30%)
- (2) グループ活動への参画・役割の遂行(20%)
- (3) 討議への参加(20%)
- (4) レポート(30%)

を基準として、総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定しない

参考文献

随時、授業内に指示する

5. 準備学修の内容

- (1) 受講者には関心のある教育問題について発表してもらうため、教育問題について新聞やニュース、読書等を心がけること
- (2) 授業資料は、事前に指示するので、確実に読み込んでおくこと
- (3) 可能な限り学校訪問やボランティア活動などの体験活動に参加し、学校教育の現状について、児童・生徒や教員と直接接することをして理解できるよう努めること

6. その他履修上の注意事項

- (1) 受講者は、授業中に、必ず発表、質疑応答、意見表明などが求められることを前提として、教育問題について新聞やニュース、読書等を心がけること
- (2) 卒業研究を意識したテーマの追究に努めること。

7. 授業内容

- 【第1回】 「オリエンテーション」
○ シラバスや研究内容、研究計画の確認
○ 選択理由や課題意識についての発表
- 【第2回】 「研究の手法」(1)
○ 「問いを作る」ことに関する講義と演習
- 【第3回】 「研究の手法」(2)(LMSによるオンライン授業)
○ 情報収集の方法と著作権に関する講義と演習
- 【第4回】 「学校教育の現状と今後の方向性」に関する議論
○ 文献の購読・発表
○ 主な論点に関する意見交換
- 【第5回】 「学習指導要領の改訂」に関する議論
○ 文献の購読・発表
○ 主な論点に関する意見交換
- 【第6回】 「生徒指導」に関する議論
○ 文献の購読・発表
○ 主な論点に関する意見交換
- 【第7回】 「教員の養成・採用・育成」に関する議論
○ 文献の購読・発表
○ 主な論点に関する意見交換
- 【第8回】 「教育委員会制度」に関する議論
○ 文献の購読・発表
○ 主な論点に関する意見交換
- 【第9回】 研究テーマの選択とグループ編成
○ テーマによりグループを編成する
○ テーマの決定、資料収集に関する情報交換
○ リサーチクエスションの検討
- 【第10回】 グループ研究①(選択テーマの発表・意見交換、全体協議)
- 【第11回】 グループ研究②(選択テーマの発表・意見交換、全体協議)
- 【第12回】 グループ研究③(選択テーマの発表・意見交換、全体協議)
- 【第13回】 まとめのレポート作成(発表内容に関する考察)

【第14回】 レポート報告(発表、全体協議)

【第15回】 秋期演習に向けたテーマの検討
○ 個人としてのテーマの選定
○ テーマ領域ごとのグループ編成
○ 個人の仮テーマ案の決定